

コラム

芦屋の伝説「打出の小槌」



「打出」の地名は、その地が旧西国街道が京から南西に下って初めて海岸に打ち出る場所であることから名付けられたと考えられています。その打出村にまつわる次のような伝説があります。

昔、打出村にお金持ちの長者が住んでいました。長者はひとつの宝の小さな小槌を持っていました。その小槌を打ち振ると何でも願い事がかなえられるという宝物でした。

この小槌は、もとは打出の沖にすんでいた竜の神様が持っていたものだと伝えられ、竜の神様が人間の姿になって、朝廷に差し上げたものだとされていました。どのようにして長者の手に入ったのかはわかりませんが、昔、都で仕えていた時に手柄を立てたので、褒美にもらったのだらうといわれていました。

この小槌はこの上ない宝物でしたが、ただ一つ困ったことに、鐘の音が聞こえてくると、それまで打ち出した宝物のすべてを失ってしまうそうです。

コラム

打出焼

打出の地は古くから壁土の産地として知られ、明治時代の中ごろには芦屋の先覚者である齊藤幾多が、その特有の粘りや土質の良さに着目して陶工を招いてお庭焼の窯を築きました。明治42年(1909)には、春日町21番に登り窯を築いて京焼の祖といわれる野々村仁清の流れをくむ阪口庄蔵(初代砂山)に継承され、「打出焼」と称し、茶器や花器等の洗練した作風は、広く京阪神の人々に愛用されるようになりました。原料の粘土の不足は、信楽・京都方面の土を混入して補いました。

戦中・戦後の不況が重なる中で、初代砂山が没し、2代目として阪口淳が窯元を継ぎ「打出焼」の普及に努力を続けましたが、昭和40年ごろに製作は中止されました。



打出焼の刻印「うちで」
(長さ11mm、幅6mm)



芦屋の文化財 ⑤

芦屋市には長い歴史があり、さまざまな文化財が残されてきました。現地に行けば実物や解説板等により、その存在を確認できる市内の文化財を取り上げています。

※生涯学習課発行の『芦屋の文化財ハンドブック』を広報国際交流課が再編集して紹介しています。

古墳時代中期末(5世紀末)に築造された墳丘長約58mと推定される市内最大の前方後円墳ですが、



打出小槌古墳

室町時代(15世紀後半)〜16世紀初頭の耕作地開発によって、墳丘は完全に消滅しました。発掘調査によって周濠が見つかっており、埴輪や葺石等が出土しています。前方部の発掘調査後に建設されたマンションの入り口部分には、解説板が設置されています。



なお、この付近には打出小槌遺跡も分布しており、市内最古の遺物である後期旧石器時代(今から約2万年前)の国府型ナイフ形石器が出土しています。

国登録有形文化財 旧松山家住宅松濤館

現在の芦屋市立図書館の打出分室です。この建物は明治時代に大阪に建設された銀行の建物(逸身銀行)説、「東京貯蔵銀行大阪支店」説等があります。松山與兵衛氏

が美術品を収蔵するために購入し、昭和5年(1930)に現在の場所に移築したものです。その後、昭和29年(1954)〜1987)までは芦屋市立図書館本館として、平成2年(1990)からは図書館打出分室として利用され、現在に至っています。



平成21年(2009)1月8日に「旧松山家住宅松濤館」および「旧松山家住宅塀」という名称で国登録有形文化財に登録されました。ルステイカ仕上げの花崗岩を積み重ねた外観や縦長のアーチ窓、内側のロマネスク調の木製飾り柱等が特徴です。



「芦屋の文化財」は今号を持ちまして、終了となります。「愛読ありがとうございます」。

※現地には、解説板があります。

飛鳥・白鳳文化期(7世紀後半)創建の芦屋廃寺の塔の中心礎石と考えられており、昭和11年(1936)に現在の西山町付近で発見され、その後、月若町の個人住宅内に移設されました。平成5年(1993)に所有者から芦屋市に寄贈されたのを機に、芦屋市立美術

博物館の東庭に移設し、展示しています。大きさは最大長さ130cm、高さ58cmです。上面のほぼ中央に直径31cm、深さ16cmのほぞ穴があり、この穴にたまった水を「イボ落とし」に使ったという興味深い伝承があります。



兵庫県指定文化財 伝芦屋廃寺塔心礎

KOBELCO 神戸製鋼グループ

神戸製鋼グループが運営する介護付有料老人ホーム 広告

便利でありながら閑静な住宅街、神戸市東灘区に立地。

見学会開催
2016年2/22日
11:00~14:00
(参加費:1,000円/人 昼食付)
詳しくは下記フリーコールまで

※入居状況により見学会は共用部のご案内になる場合もございます。

0120-65-8208

【神戸市有料老人ホーム 設置運営指針による表示事項】 ● 施設/介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護) ● 居住の権利形態/利用方式 ● 利用料の支払方法/一時金方式(一般型) ● 入居時の条件/入居時自立/要支援/要介護 ● 介護保険/兵庫県指定介護保険特定施設 ● 兵庫県指定介護予防特定施設 ● 介護施設区分/全室個室 ● 介護に付する職員体制/1.5以上/定額(1700~2930)の介護職員8名/看護職員2名 ※定額外臨時、介護職員4名、看護職員1名、に2名時間帯があります ※緊急時対応は対応いたします。 【施設概要】 ● 交通/阪急神戸線「岡本」駅より徒歩15分(約1,180m)、JR神戸線「芦屋本山」駅より徒歩12分(約930m)、阪神本線「青木」駅より徒歩9分(約700m) ● 構造/規模/鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上14階建(ケアセンター棟地上6階) ● 総居室数/一般居室105戸/介護居室97室 ● 土地建物の権利形態/土地は普通借地(平成16年契約、所有者は神鋼不動産(株))、建物は自社所有

神戸製鋼グループ(神戸製鋼所85%出資) 〒658-0015 神戸市東灘区本山南町3丁目3番1号 TEL:078-411-9600 FAX:078-411-9674
経営 神鋼ケアライフ株式会社 TEL:078-411-9600 FAX:078-411-9674
運営主体 (公社)全国有料老人ホーム協会会員(一社)全国特定施設事業者協議会員 ホームページ <http://www.s-carelife.co.jp>

地域密着型 介護付有料老人ホーム 広告

(芦屋市民の方限定)

見学会 随時受付中
お気軽にお電話ください。
TEL0797-23-1200

社会福祉法人 緑水会 介護付有料老人ホーム
芦屋アラベラの家

〒659-0012 芦屋市朝日ヶ丘町9番1号 ホームページ [芦屋アラベラ](#) 検索 2014年4月開設